

平成24年度 七歳合同祝

来る11月15日(木)、町内各小学校を会場に町主催で分館ごとに七歳合同祝が行われます。

七歳合同祝は、子どもたちの健やかな成長を、地域のみなさんとお祝いする恒例の行事です。子ども達は、町の宝。元気にのびのびと育ててくれることを願っています。



23年度の合同祝(佐川野小学校)

ふれあい

第149号

今年も盛大に行われました!! ～野木町ふれあい夏祭り～

平成24年8月25日(土)に野木町公民館前駐車場において、第3回野木町ふれあい夏祭りが開催されました。

野木町おはやし保存会連絡会によるおはやし上演から始まったお祭りは、子どもたちによる日光和楽踊りの演奏、よさこい体験、野木町音頭と続いていき、来場者も大変盛り上がり上がりました。

また、子ども向けのゲーム・アトラクションコーナーを設けた「子ども広場」では、様々な参加賞が用意されており、来場した子どもたちも満足そうでした。

来年度も、夏祭りの開催に向けて、各団体と共に協力して行きたいと思えます。



手づくりうちわも大好評!!



子どもたちの発表

分館から

南赤塚

日銀視察研修



平成24年度南赤塚学区「日本銀行の視察研修」が7月17日（火）に開催されました。

野木町を9時に出発。浅草寺近辺を見学し、昼食後日本銀行に向かい、13時に到着。最初に入館の手続きを済ませ、係員より注意事項の説明を受け、3グループに分かれ、見学を開始しました。

展示物は、本物の「お金」「お札」を歴史順に並べ、その脇に説明文が表示してありました。「初めて見た貨幣」と「記

憶に残っている貨幣」等懐かしい物を見て、改めて自分の年齢を感じました。昭和40年代の初任給は、現在の十分の一くらいだったのでしょうか？特に興味深かったのは「一億円の札束」を手で持って「重さの体験学習」ができるコーナーです。これを体験すると一瞬ですが「大金持ち」の気分になりました。また、機会があれば見学したいと思いました。



野木

おはやし祭り

8月5日（日）、野木地区児童及び保護者を対象に「坂下地区の伝統芸能、おはやし祭り体験」が行われました。

強い日差しが照りつける猛暑の中、笛や鼓の音を合図に、お祭りは始まりました。山車を引く子ども達を先頭にお囃子保存会の方々が、坂下地区の道を何度も往復し、練り歩きます。地区の女性の皆さんは、折り返し地点で飲み物やスイカお菓子などを振る舞って、お祭りを盛り上げます。



また、子ども達は、分館役員が用意してくれたヨーヨー釣りを楽しんだり、かき氷を何度もおかわりしたりと、お祭り気分を味わっているようでした。「夏休みの子ども達の思い出づくり」と企画したこの体験行事。地域の温かな心に触れた1日でした。

分館・館報編集委員
合同視察研修



今年の合同研修は、埼玉県戸田市上戸田公民館の活動状況を視察しました。戸田市には、4地区に公民館があり、上戸田公民館はその中の1つで、平成23年度優良公民館として表彰されました。

戸田市は、JR埼京線の開通以降、マンションの建設ラッシ

ユで飛躍的に人口が増加し、現在は12万6千人余で、人口が減少傾向にある中で、今後10年間は、増え続けるという特色ある市です。

上戸田公民館は、幼児から高齢者までを対象とした講座が多岐にわたり開設しています。特に子育て世代向けには、託児所付きで支援を行い力を入れています。

高齢者からの知恵や道徳意識も特にないまま、親になっていく人達への「親育て」は、幼児教育を通して行われています。少子化、核家族化が進んでいる中で印象に残った講座でした。

最後に行った意見交換では、示唆に富んだ活発な意見が出され参考になり、とても勉強になった視察研修でした。



素顔

野木町柔道クラブ会長

福田健三さん



福田健三さん

秋田県由利本庄市出身の63歳。小学校4年生の時から柔道を始め、高校時代は東北大会出場（本人は語るほどのものではないというが、骨折していたにも関わらず、県ベスト8の実績をもつ）※現在講道館六段

結婚をきっかけに野木町に住むようになり、今の野木町柔道クラブも34年目を迎えた。まったくひとりやっていた時期もあったが、今は教え子達がボランティアで指導者として帰ってきてくれて、ずいぶん楽になった。

「我々のやることは、柔道が好きなき子を育てること。嫌いな

野木町柔道クラブとは？

海老沼選手を始め、全国レベルの選手を数多く輩出しているこのクラブのモットーは、「攻める柔道」。今はダメでも、それを続けていけば必ず強くなれる。

「注意することはちゃんと注意して、誉めるところは誉めてくれる福田先生が好き」と言っている他県から通ってくる子どもも多い。

場所 野木中学校「潤心館」
日時 火・水・金・土
午後7〜9時

連絡先 福田健三

(55)1280



サークル紹介

のぎ民話語り部



かたりべとは、野木地域に伝わる昔の話をわかりやすく幼児に伝えていく話です。シニアの世代の方々が中心で行っています。現在、野木の会員が少ないため、近隣の岩舟町へ行き、公民館で他の会員の方々と共に研鑽させて頂いています。

町のイベントや行事がある時は、依頼があれば会員達がごぞつて参加しています。こうした活動は講師の美寿々先生に指導して頂いているところです。

今回、ホープ館において、10月9日(火)に発表会をいたしま

すので、皆さんお誘い合わせの上、参加し耳を傾けて頂ければ幸いです。ほんの一時を癒しの世界にいられます。

問合せ 松橋事榮

(57)1397

特集

「きずな」

丸林自衛防災会



丸林自衛防災会は、「第3回防災まつり」を7月26日に、丸林東・西区の町民130名参加のも

と、県消防防災航空隊と県防災館の2箇所を見学し、様々な体験をしてきました。



午前中は、防災航空隊に行き防災ヘリ「おおるり」の実践しながらの実演(救助)訓練を見

て、参加者は感動、感激し、拍手喝采でした。この航空隊は、県民のため日夜いつでも出動できるよう待機しています。

その後の防災館は、万が一の災害に備えて、自然災害を体験し、防災に関する知識を身につける施設です。この自然災害の体験で、まずは身の安全を確保し、そして近所への助け合いの輪を広げていくきずなの大切さを改めて学んだような気がします。

日頃、何気なく過ごしていますが、防災について貴重な体験ができた一日でした。

